

**株式会社アルペン**  
**2022年6月期**  
**決算説明資料**

Financial Report For The Fiscal Year ended  
at 30 June 2022

2022年 8月 4日

**Alpen Group**

スポーツをもっと身近に

# 2022年6月期 連結業績

---

(単位：百万円/Million Yen)

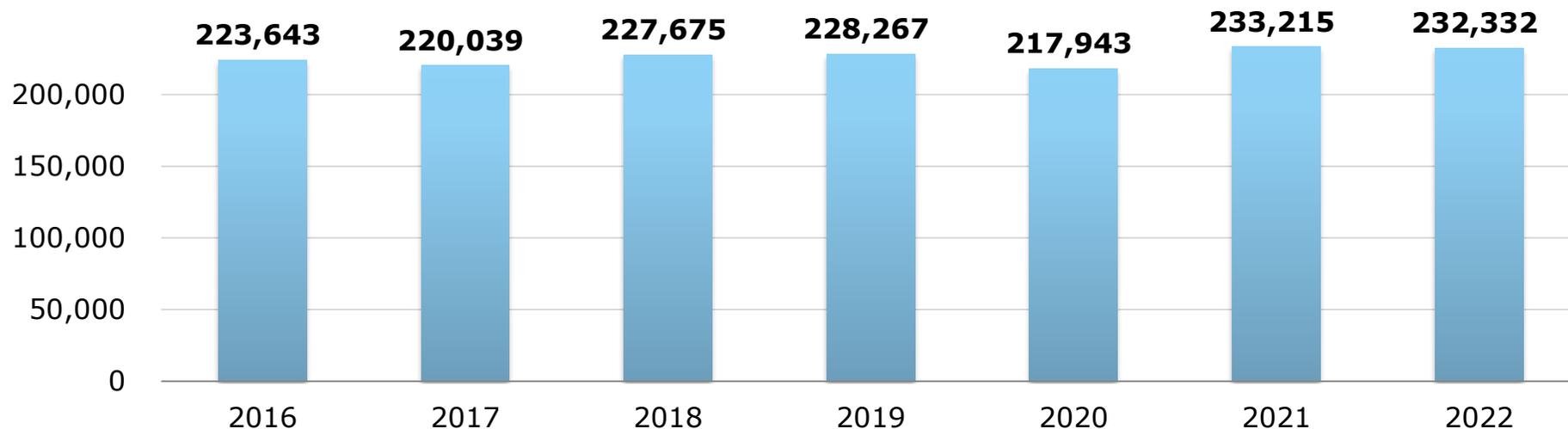
	2021/ 6		2022/ 6		前年比較 (Year on Year)	
	実績 Result	売上比 (%)	実績 Result	売上比 (%)	増減 Difference	比 (%)
売上高 Net Sales	233,215	100.0%	232,332	100.0%	▲ 883	99.6%
売上総利益 Gross Profit	98,795	42.4%	92,519	39.8%	▲ 6,276	93.6%
販管費 S,G&A Expenses	83,707	35.9%	85,366	36.7%	1,659	102.0%
営業利益 Operating Profit	15,088	6.5%	7,153	3.1%	▲ 7,935	47.4%
経常利益 Ordinary Profit	16,836	7.2%	8,988	3.9%	▲ 7,848	53.4%
当期純利益 Net Profit	10,773	4.6%	5,310	2.3%	▲ 5,463	49.3%

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

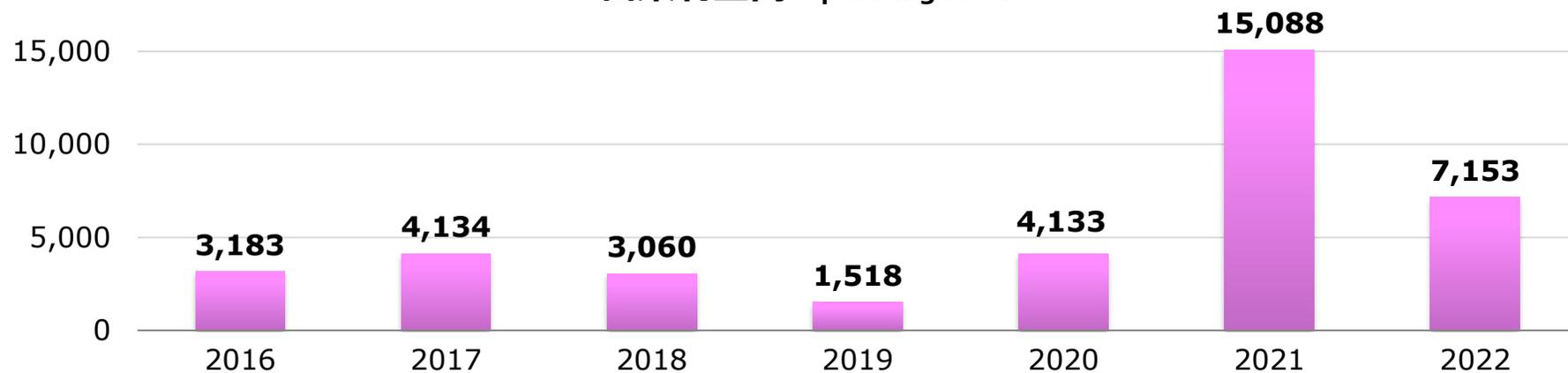
# 連結売上高・営業利益高推移 Transition of Net Sales and Operating Profit

百万円 Million Yen

## 売上高 Net Sales



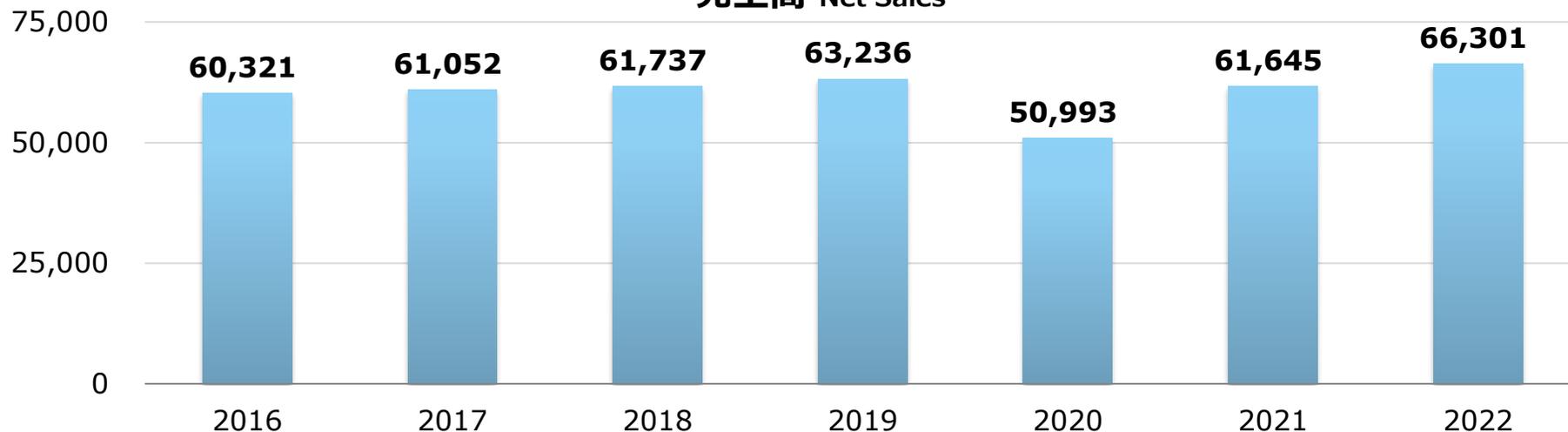
## 営業利益高 Operating Profit



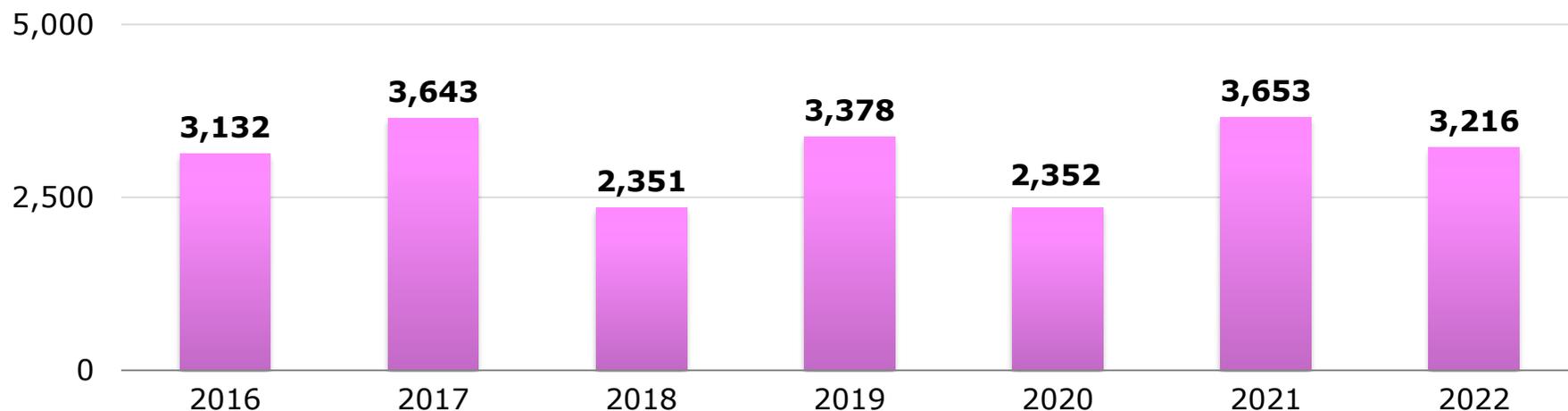
# 第4四半期(4-6月)連結売上高・営業利益高推移 Transition of Net Sales and Operating Profit (22/4-6)

百万円 Million Yen

## 売上高 Net Sales



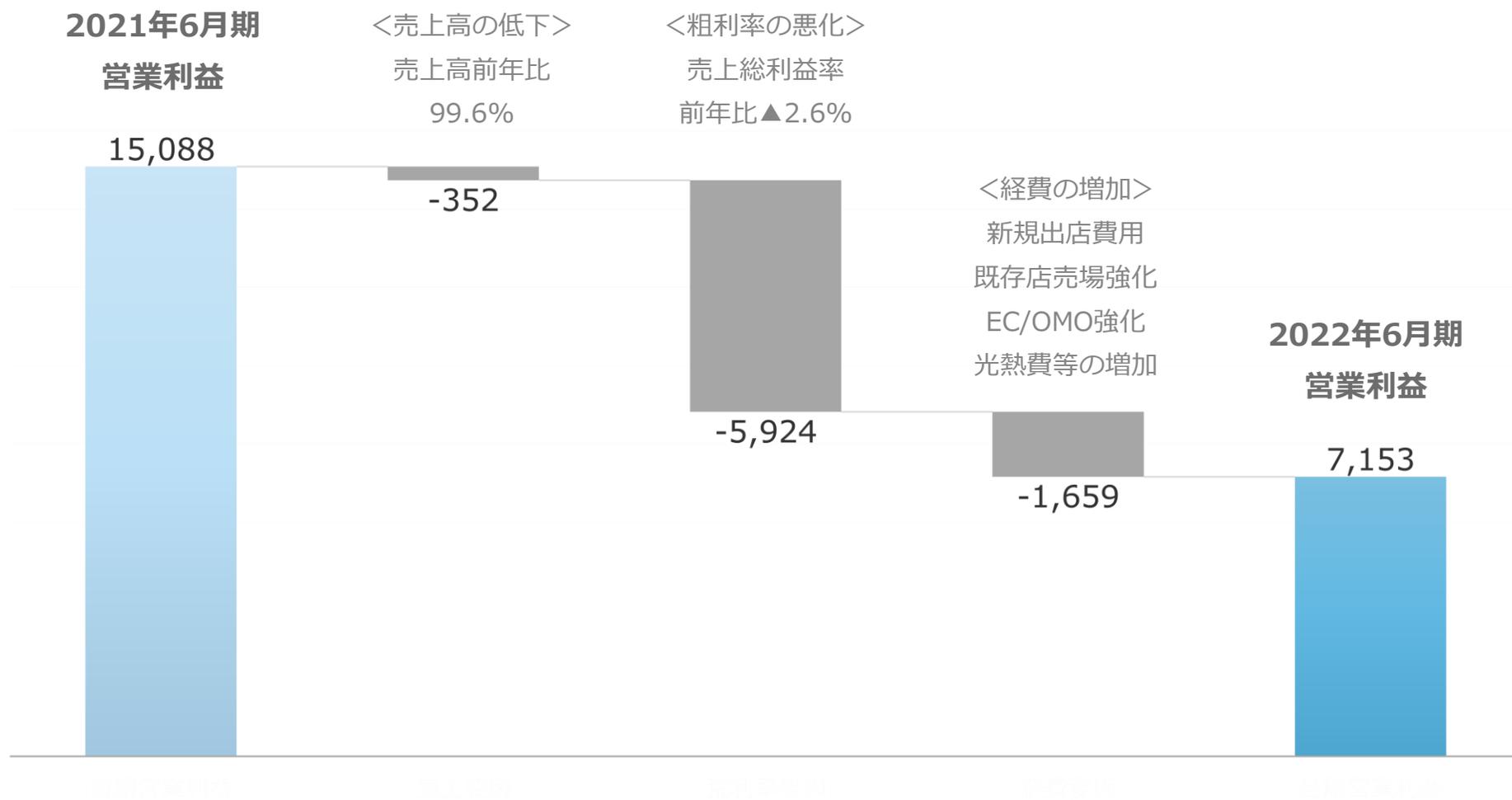
## 営業利益高 Operating Profit



# 連結営業利益の状況

## Factors Affecting Changes in Operating Profit

百万円 Million Yen



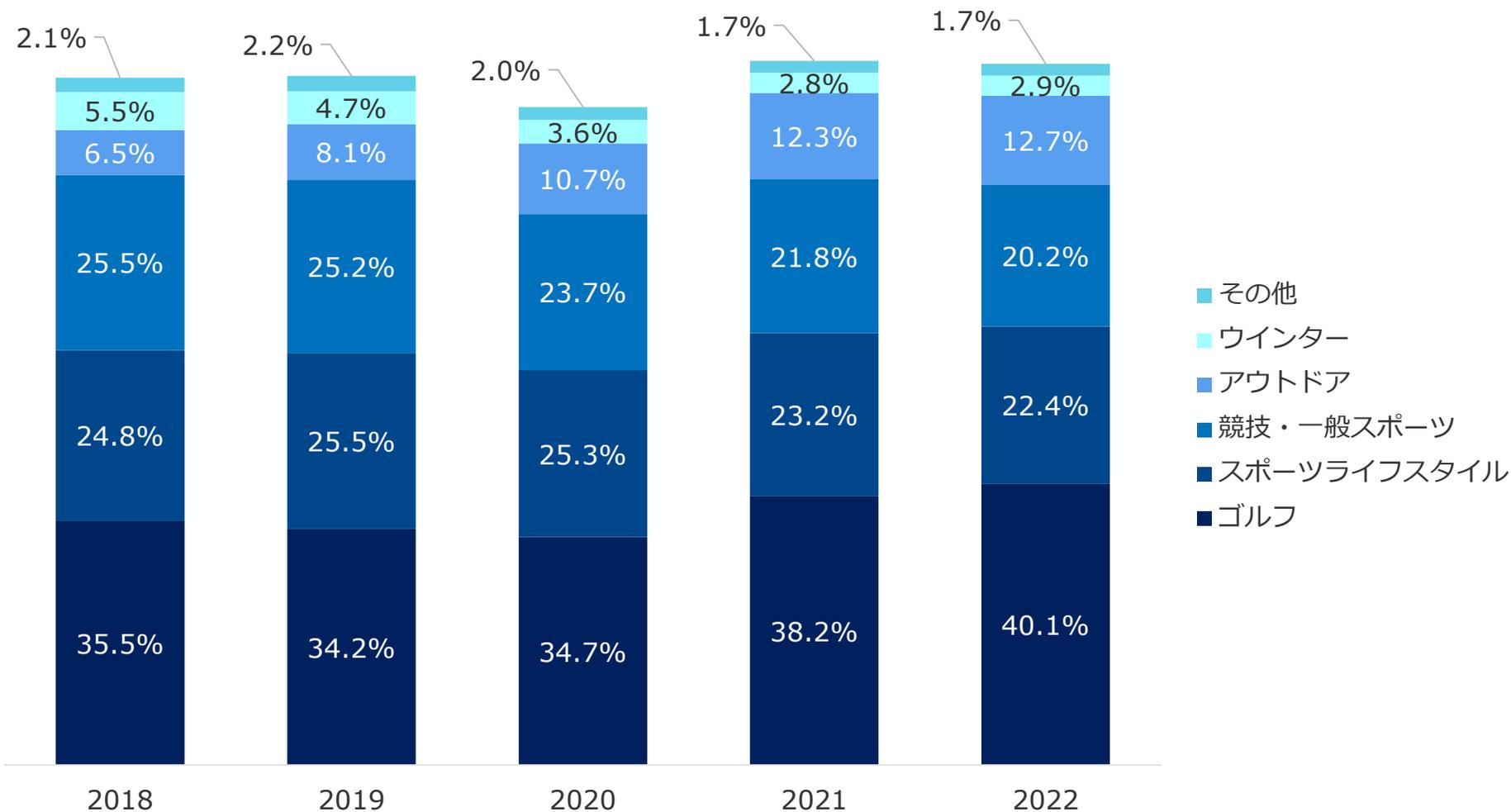
# 2022年6月期 セグメント別売上高 Consolidated Sales Segment

(単位：百万円/Million Yen)

	2021/6		2022/6		前年比較(Year on Year)	
	実績 Result	構成比 (%)	実績 Result	構成比 (%)	増減 Difference	比 (%)
ゴルフ Golf	88,996	38.2%	93,126	40.1%	4,130	104.6%
スポーツライフスタイル Sports Lifestyle	54,111	23.2%	52,141	22.4%	▲ 1,970	96.4%
競技・一般スポーツ General Sports	50,907	21.8%	47,034	20.2%	▲ 3,873	92.4%
アウトドア Outdoor	28,689	12.3%	29,439	12.7%	750	102.6%
ウィンター Winter Sports	6,628	2.8%	6,671	2.9%	43	100.6%
小売計 Sales Total	229,332	98.3%	228,413	98.3%	▲ 919	99.6%
その他 Other	3,882	1.7%	3,919	1.7%	37	101.0%
合計 Total	233,215	100.0%	232,332	100.0%	▲ 883	99.6%

# 連結セグメント別売上高構成比推移 Consolidated Net Sales by Segment

百万円 Million Yen



### 【ゴルフ】

- プレイヤー人口の増加によりゴルフ市場は好調な状態が続く
- ゴルフクラブの販売が堅調なほか、品揃えを強化しているアパレルも好調な推移

### 【スポーツライフスタイル】

- 外出自粛により需要の弱い状態が続いたものの、春先以降は外出機会の増加に伴い、アパレル中心に回復基調が強まる

### 【競技・一般スポーツ】

- 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により部活動が制限されるなど、新型コロナウイルスの感染拡大の程度によって需要が大きく変動する不安定な状況が継続

### 【アウトドア】

- キャンプ人気は引き続き高いが、需要の伸び方には落ち着きが見られる
- 市場全体で取扱店舗の増加が続き、需給バランスの悪化から値引き販売が増えるなど、市場環境はやや厳しくなっている

### 【ウインター】

- 降雪にも恵まれ市場は堅調な推移を示したものの、在庫量が限られたこともあって、売上の伸びは限定的であった

## 2022年6月期 月次売上高前年比(%) Monthly sales year-on-year

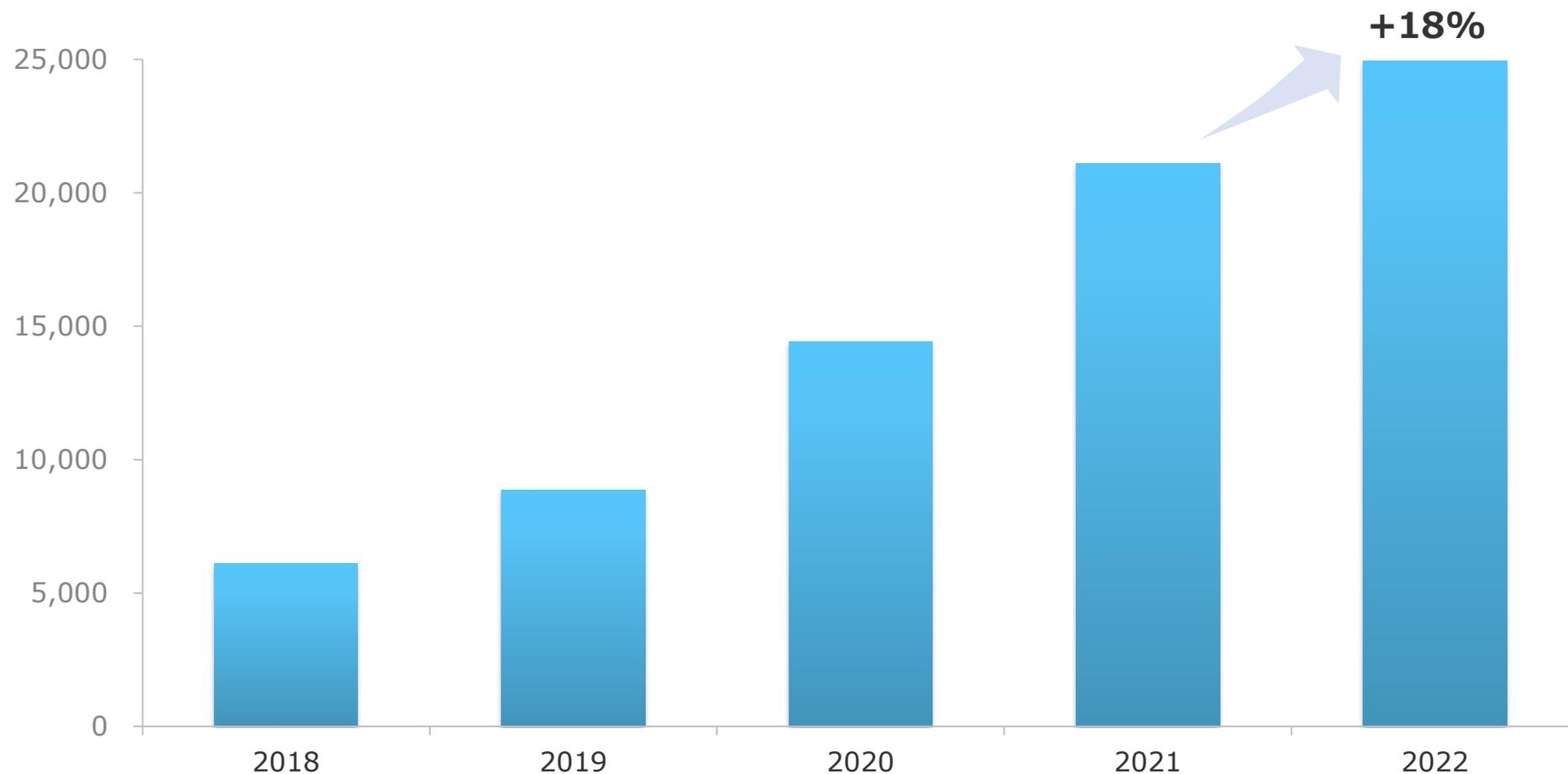
	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1Q累計	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	上期 累計
既存店	99.4%	75.8%	89.4%	87.9%	92.5%	91.8%	98.3%	91.2%
全店	100.1%	76.5%	90.0%	88.6%	93.1%	92.4%	98.8%	91.9%
全社	102.4%	78.9%	91.1%	90.6%	95.2%	93.6%	101.1%	93.7%

	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	3Q累計	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	累計
既存店	107.8%	97.1%	98.6%	94.4%	102.4%	103.9%	103.1%	96.7%
全店	108.1%	97.8%	99.1%	95.0%	106.4%	107.8%	106.2%	98.1%
全社	110.0%	101.8%	101.2%	96.9%	106.1%	106.4%	106.7%	99.4%

※子会社を除く社内管理数値

百万円 Million Yen

## EC売上高 EC Sales



# 2022年6月期 業態別店舗数 Number of Opened & Closed Stores by Store Brand

業態 Brand	前期末 2021/6	出店 Open	退店 Close	6月末 2022/6
アルペン	38	0	2	36
アルペンアウトドアーズ (アルペンマウンテンズを含む)	14	6	0	20
スポーツデポ	145	5	2	148
ゴルフ5	194	3	1	196
その他	3	0	0	3
合 計	394	14	5	403

## <出店 Open>

- ・初心者専用ゴルフ5新宿フラッグス(8月) ※期間限定店舗
- ・スポーツデポ函館梁川 (10月) ※業態変更
- ・スポーツデポ京都南インター (10月) ※業態変更
- ・ゴルフ5プレステージ名古屋 (2月)
- ・アルペンアウトドアーズくずはモール (3月)
- ・スポーツデポくずはモール (3月)
- ・Alpen TOKYO (4月) ※3店舗
- ・アルペンアウトドアーズ広島アルパーク (4月)
- ・アルペンアウトドアーズ熊本New-s (4月)
- ・アルペンアウトドアーズカメイドクロック (4月)
- ・スポーツデポカメイドクロック (4月)
- ・アルペンアウトドアーズなんばパークス (6月)

## <退店 Close>

- ・スポーツデポ名西 (9月)
- ・アルペン函館梁川 (10月) ※業態変更
- ・アルペン京都南インター (10月) ※業態変更
- ・スポーツデポみのおキューズモール (2月)
- ・初心者専用ゴルフ5新宿フラッグス (5月) ※期間限定店舗

(単位：百万円/Million Yen)

	2021/ 6		2022/ 6		前年比較 (Year on Year)	
	実績 Result	売上比 (%)	実績 Result	売上比 (%)	増減 Difference	比 (%)
人件費 Personal cost	30,659	13.1%	29,926	12.9%	▲ 733	97.6%
販促広告費 Advertising Promotion cost	4,704	2.0%	4,692	2.0%	▲ 12	99.7%
物流費 Logistics costs	5,103	2.2%	5,655	2.4%	552	110.8%
店舗・設備費 Facility costs	27,864	11.9%	28,493	12.3%	629	102.3%
その他 Others	15,375	6.6%	16,598	7.1%	1,223	108.0%
合 計 Total	83,707	35.9%	85,366	36.7%	1,659	102.0%

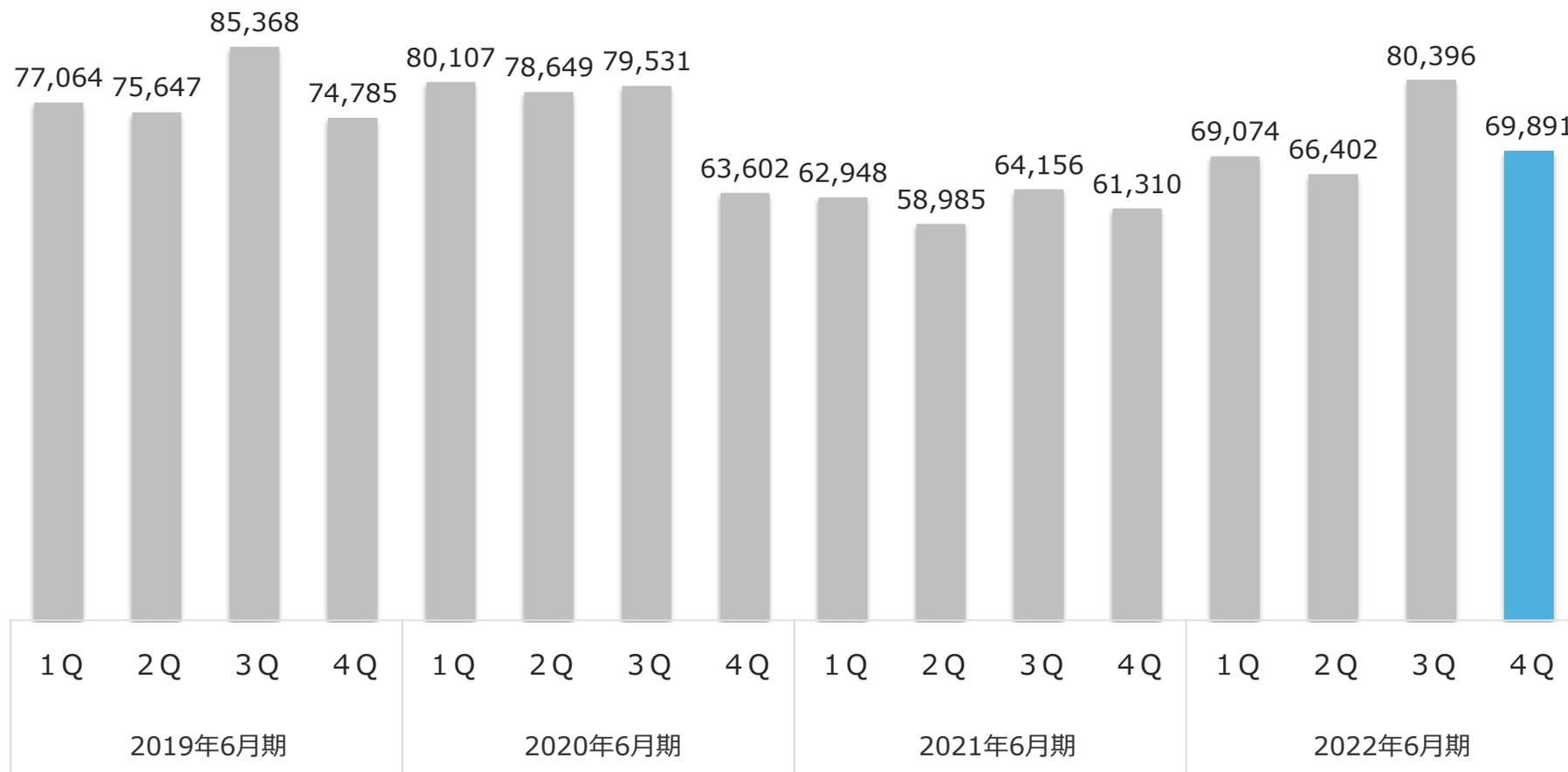
(単位：百万円/Million Yen)

	2021/6		2022/ 6		増減 Difference
	実績 Result	構成比 (%)	実績 Result	構成比 (%)	
<b>流動資産</b> Current Assets	<b>129,670</b>	62.4%	<b>113,199</b>	58.6%	▲ 16,471
(うち現金及び預金) Cash and Deposit	<b>56,948</b>	27.4%	<b>28,905</b>	15.0%	▲ 28,043
(うち商品及び製品) Merchandise and Goods	<b>61,310</b>	29.5%	<b>69,891</b>	36.2%	8,581
<b>固定資産</b> Fixed Assets	<b>78,238</b>	37.6%	<b>80,100</b>	41.4%	1,862
<b>負債</b> Liabilities	<b>99,102</b>	47.7%	<b>81,971</b>	42.4%	▲ 17,131
(うち仕入債務) Trade Payable	<b>47,113</b>	22.7%	<b>46,874</b>	24.2%	▲ 239
(うち借入金) Debt	<b>21,600</b>	10.4%	<b>9,500</b>	4.9%	▲ 12,100
<b>純資産</b> Net Assets	<b>108,807</b>	52.3%	<b>111,328</b>	57.6%	2,521
<b>総資産</b> Total Assets	<b>207,909</b>	100.0%	<b>193,299</b>	100.0%	▲ 14,610

# 在庫推移 Changes in Inventory

百万円 Million Yen

- 在庫に関しては第4四半期に一定量を消化したものの若干の過剰感が残る水準にて着地



# 2023年6月期 主要施策

---

# 店舗施策（新規出店）

## 2023年6月期出退店計画

業態 Brand	出店 Open	退店 Close	期末 2023/6
アルペン	0	1	35
アルペンアウトドアーズ (アルペンマウンテンズを含む)	1	0	21
スポーツデポ	2	1	149
ゴルフ5	1	1	196
その他	0	1	2
合計	4	4	403

旗艦店の好影響もあり出店の引き合いは増加



# 店舗施策（既存店強化）

## スポーツ



## ゴルフ



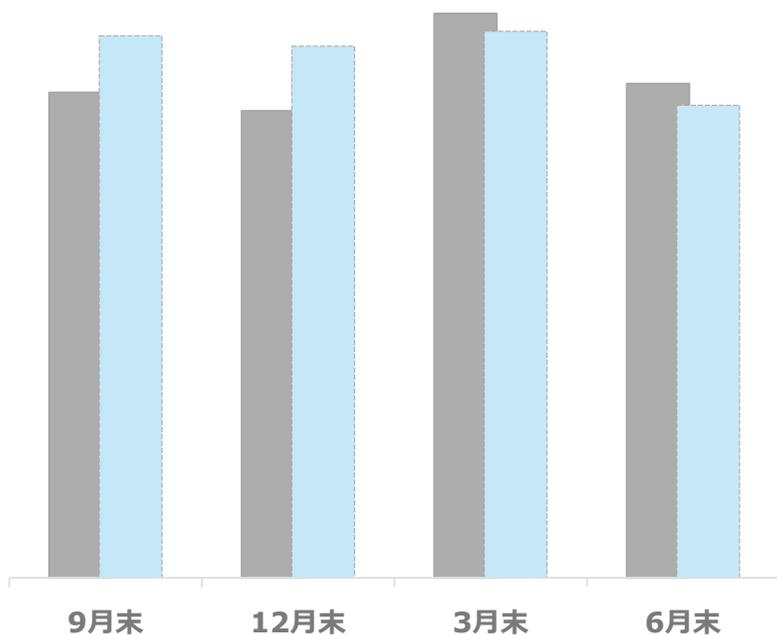


## 在庫計画

過剰感の残る在庫については、下期にかけて前年を下回る水準に落ち着くようコントロール

### 在庫水準イメージ

■ 前期 ■ 当期計画



## プライベートブランドの強化

圧倒的な開放感の2ルームテント

### AOD-3

**先行予約開始!**

AOD-3にベストマッチの  
**AOD-TARP**も同時先行予約開始

先行予約 限定	テント・タープ同時にご予約いただくと アジャスターポールを2本プレゼント
------------	---

先行予約は7/31まで

定数に達した時点で予約終了!  
ご予約はお早めに!

Alpen Outdoors

“アウトドアをもっと身近に”

## ナショナルブランドとの協業

**【限定販売】**  
快適性を追求したサポートランニングシューズ  
「Cloudbunner」販売開始

重力から自由に

Cloudbunner

限定発売  
SPORTS DEPO SPORTS Alpen On TOKYO

## 店舗におけるECの仕組みの活用



## スタッフスタートの活用拡大

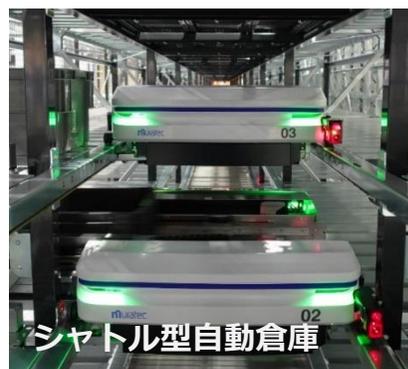
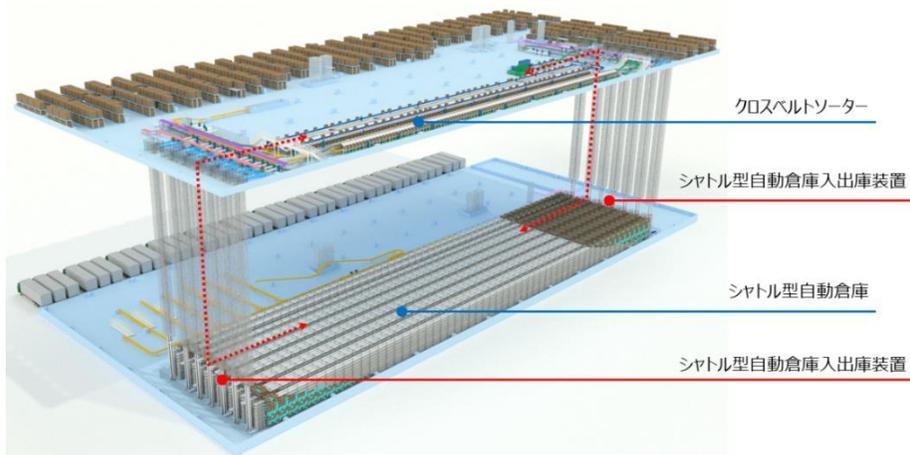


## 物流網再構築による高効率な物流体制



### 大口DC新設（愛知県大口市：2024年稼働）

- ・ アパレルとシューズカテゴリの専用倉庫
- ・ 国内最大規模の「シャトル型自動倉庫」および「クロスベルトソーター」を導入
- ・ 自動化により作業工程を60%削減



## 「Alpen Outdoors」を冠したキャンプ場をオープン



ゴンドラ遊覧



トレッキング



ナイトゴンドラ&  
星空観測



山菜採り

(単位：百万円/Million Yen)

	2022/6 Full Year		2023/6 Full Year		前年比較 Year-on-Year	
	実績 Result	売上比 (%)	予想 Forecast	売上比 (%)	増減 Difference	前年比 (%)
売上高 Net Sales	232,332	100.0%	248,000	100.0%	15,668	106.7%
営業利益 Operating Profit	7,153	3.1%	7,200	2.9%	47	100.7%
経常利益 Ordinary Profit	8,988	3.9%	8,650	3.5%	▲338	96.2%
当期純利益 Net Profit	5,310	2.3%	5,020	2.0%	▲290	94.5%

上記の予想は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症については、今後も不透明な状況が継続するものの、重症化リスクの低下などにより、これまでのような大規模な行動制限が繰り返される状況にはならないという前提で作成しております。そのため感染拡大の動向や、それに対してとられる措置の内容次第では、見通しが大きく変動する可能性があります。

	2021/6 実績 Result	2022/6 実績 Result	2023/6 予想 Forecast
中間配当 Half-year dividend	20円	25円	25円
期末配当 Fiscal year-end dividend	25円	25円	25円
合計 Total	45円	50円	50円

※配当予想につきましては確定したものではありません。  
業績見通しに大きな変更が生じた場合、配当予想も変更することがあります

# 2025年6月期までの3ヶ年計画

## 3年後の業績目標水準

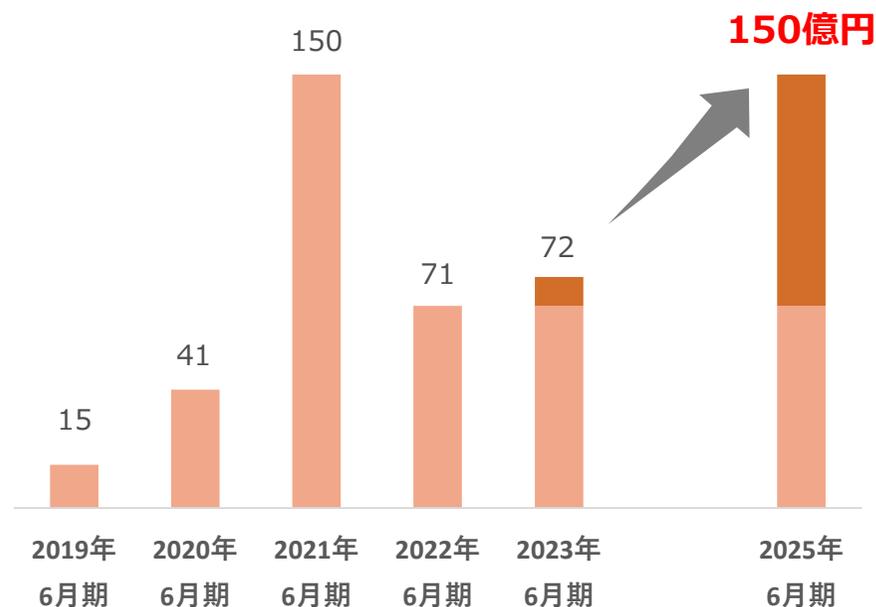
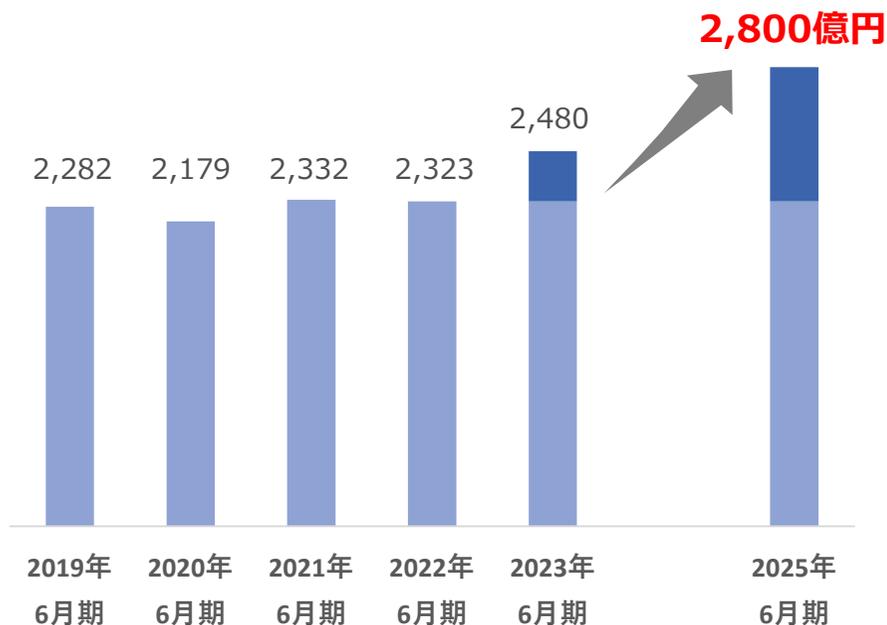
連結売上高 **2,800億円**  
営業利益高 **150億円**、営業利益率 **5%以上**

## 連結 売上高

- これまでのコロナ禍では、好調カテゴリもあったが全体の売上としては伸び悩み
- 今後は、正常化による「不振カテゴリの回復」、「継続的な新規出店」、「ECの継続的成長」で売上高の大幅増を目指す

## 連結 営業利益高

- コロナ禍初期で競争も落ち着いていた2021年6月期は過去最高益を達成
- 2022年6月期は競争激化と、出店等によるコスト増加もあり利益水準は低下
- 今後は荒利率改善、生産性向上の両面からの取組により、2025年6月期には過去最高の利益水準への回復を目指す



## パーパス

### スポーツをもっと身近に

スポーツの魅力を広め、  
スポーツが好きな人に寄り添い、  
スポーツの力で世界をもっとワクワクさせていく

## 経営方針

### スポーツ業界のイノベーターになる

#### こだわり抜いた品揃え

- こだわり抜いた独自の魅力的な品揃え
- 世界に通用するプライベートブランド

#### お客様に寄り添う専門家

- 深い知識と経験を持つ専門家集団
- お客様の悩みに応え続けるホスピタリティ

#### ワクワクする店舗

- スポーツの魅力を伝えられる店舗空間
- 最先端の技術を活用した快適な購買体験

#### スポーツが溢れる未来

- スポーツに必要な自然環境を守る活動
- 次世代のスポーツ好きの育成

## 行動指針

#### お客様志向

- 常にお客様に寄り添い、お客様のために行動

#### 最高の人材育成

- 強いリーダーシップを持つスポーツの専門家を育成
- 年齢性別に関係なく活躍できる体制

#### 挑戦のスピリット

- 誰よりも早く新しいことに常に挑戦
- 世の中の常識を変える、大胆な取り組みを推進
- 圧倒的なスピードで実現

#### チームワーク

- チームとして協業する風土の構築
- 取引先様との相互パートナーシップの構築

#### スポーツへの愛情

- 常にスポーツを楽しみ、スポーツを愛する風土を構築

# 成長のための重点施策

- 独自性の高いプライベートブランド商品の取り扱い拡大
- 主要ナショナルブランドとの協業を強化して競合店と差別化

## 商品改革

- 継続的出店によるエリアカバレッジ拡大
- スタッフ教育の強化による専門性の追求
- 本物のスポーツシーンを感じられる売場の展開

## リアル店舗

- 継続的な投資による使い勝手と購買体験の強化
- リアル店舗の価値を最大限に引き出すOMO施策の推進

## デジタルマーケティング

- 900万人の会員データを活用したデータドリブンな組織の構築
- 個々のお客様の共感を生み出すコミュニケーションの実現

## EC事業

- スポーツ業界のサステナビリティをリードする取組の推進

# スポーツ業界のイノベーター

## 業務・物流効率化

- DX投資の推進による本質的な業務改革の実現
- 店舗・ECの成長を支える最先端で高効率な物流体制の構築

## サステナビリティ

## 人材育成

- あらゆる背景を持った人材が活躍する組織体制構築
- 変革をリードする人材の育成と登用

# 新サステナビリティ目標

## 『スポーツの溢れる未来』 に向けた取り組み

## 2027年までの 目標とKPI

### 脱炭素社会の実現に向け事業におけるCO2排出量削減活動の推進

気候変動によって酷暑や暖冬が深刻化し、スポーツをする機会が失われつつあります。その気候変動の要因の一つであるCO2排出量を削減し、スポーツを楽しむ機会を守っていくことを目指します。

### 資源循環を促進し用品における環境負荷低減の推進

スポーツに不可欠な道具を少しでも資源として循環させていくことで、スポーツ用品における環境負荷を低減していきます。

### スポーツを愛する人自らの手で、自然環境保全活動を推進

自然環境の恩恵を受けて楽しむことができるスポーツのフィールドを、スポーツを愛する人々と一緒になって守っていくことを目指します。

### スポーツ愛好家を育むスポーツコミュニティ形成の推進

スポーツ好きを増やし、スポーツコミュニティ形成を推進することで、スポーツを楽しむ仲間を増やし未来につないでいくことを目指します。



エネルギーの使用  
によって排出される  
CO<sub>2</sub>を2015年度対比  
で50%削減



アパレル、シューズ、バック  
における環境対応商品の  
売上高比率 30% 以上



2021年から累計で2万人  
(社員含む)が環境保全に  
関する啓発活動に参加する



店舗でのスポーツ振興  
活動年 8000回



2020年から累計  
1万人以上の子供に  
本物に触れる機会を提供

# Alpen Group

## スポーツをもっと身近に

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。従って将来の業績は経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。また、この内容は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

当社としては一切の責任を負いかねますのでご承知ください。